

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホーム おやの家

作成日: 平成30年 5 月 1日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49 (18)	近くに大きな公園があるなど恵まれた環境にあるので、散歩や買い物など、今後さらに日常的な外出を増やしていくことを期待したい。	前年度は職員やご入居者の入れ替わり激しく、外出支援が少なくなってしまった。イベントごとでの外出の他にも日常的な外出機会を増やしていく。	ホーム周辺の公園や駅周辺、カフェなどに積極的に出かける事で地域との関わりを持てるように取り組む。 近隣のスーパーなどに定期的に食材やおやつなどを買いに出かける事で、ご入居者が目的や役割を持って意欲的に外出できる機会をつくる。	6ヶ月
2	4(3)	自治会長は1年交代で連携を深めるのが難しく、メンバーの欠席者が多い状況ではあるが、日頃の交流を深めたり、参加者にもメリットが得られる内容にするなど、出席してもらおう工夫をし、より充実した会議となるよう望みたい。	自治会単位で行われる地域の行事にこちらから参加し、ホームとしての関わりを強め、今後の運営推進会議への参加誘導に繋げる。年度替わりでの自治会長の出席が困難であれば、別の地域代表者を探す事を今年度中に検討する。	秋のクリーン作戦にホームとして参加し、地域住民にアピールする機会を作る。 そこからきっかけを作り、自治会長以外の地域住民の中から固定の方の会議出席を求められるものか相談する。	12ヶ月
3	7 (5-2)	アンケートで出された虐待と思われる内容や、グレイゾーンのケアについては、事業所としての見解や対応を統一して職員に示すことをこれからの作業として行う予定であり、今後のさらなるケアの向上に向けた取り組みに期待したい。	4月の法改正にて身体拘束廃止委員会を3ヶ月に1回実施。虐待やグレイゾーンなケアについても再度、意見交換行う。 それを踏まえて職員向け研修の中で虐待、グレイゾーンに対する見解、対応の周知を図る。	3ヶ月に1回実施の身体拘束廃止委員会内にて、虐待やグレイゾーンについて専門職間で意見交換行い、全職員に向けたアンケートを行う。その上でフィードバックとして対応方法や見解について統一したものを周知できるように取り組む。	12ヶ月
3	33 (12)	入居時に重度化した場合に事業所でできること等について説明しているが、今後は指針を明文化し、それによって本人、家族に説明することを望みたい。	入居時に口頭で説明している、重度化になった場合のサービス内容について書類上でははっきりと説明できるように説明資料を作成する。	重度化になった場合の指針を入居時説明資料として作成する。ご入居者、ご家族に分かりやすく説明できるようにする。	12ヶ月
4	35 (13)	火災を想定した訓練は行っているが、今後、火災以外の地震や水害等を想定した訓練も実施されることを期待したい。	年2回の避難訓練を実施。義務付けられた火災想定での訓練となるが、消防署の協力を得ながら、災害時の訓練もあわせて行えるよう取り組む。	年2回の避難訓練時、消防署に災害時の対応方法についても指導をして頂き、知識の向上につなげる。 訓練方法についても助言を受け、ホームとして災害避難訓練や勉強会などを実施できるようにする、	12ヶ月